

# クローバー

## 認知症のお話

新型コロナの話題が多いので、今回は趣向を変えて認知症のお話をします。

認知症は以前「痴呆症」と呼ばれていましたが、痴呆症という言葉自体に差別的なニュアンスが含まれるとして、2004年に認知症という名前に変わりました。考えてみるとおかしな病名で、認知という言葉は症状ではなく例えば、 hypertension と言うように病名としては本来不適切なものでよく「最近認知になってきた、認知が入ってきた。」などと言うことが増えてきましたが、日本語としては不可解なものです。それはさておきすでに認知症という病名は定着してしまいましたので仕方がありません。

日本で「痴呆」が病気として扱われるようになったのは西洋医学が伝わった後です。江戸時代以前は痴呆は「耄碌」、「老碌」（どちらも「もうろく」と読みます）と呼ばれ、老化による現象と捉えられていました。祖先の霊が家を守っていると信じられており、介護に尽くすことで高齢者が死後に家を加護してくれることで、家族も報われると信じられ、介護を負担としてのみでは捉えられていなかったようです。

認知症は珍しいことに唯一法律で定義されています。介護保険法に「脳血管疾患、アルツハイマー病その他の要因に基づく脳の器質的変化により日常生活に支障が生じる程度まで記憶機能およびその他の認知機能が低下した状態。」と規定されています。つまり日常生活に支障がなければ認知症とは言えません。

認知症診療は1999年に最初の抗アルツハイマー薬が登場するようになってから広く行われるようになりました。専門医も種々の学会で認定され認知症専門医、認知症臨床専門医、老年精神医学会認定専門医などがあり、認知症予防専門医も存在します。さらに認知症サポート医が存在し、やや混沌としたところがあります。しかし、認知症は必ず進行します。そのため薬物療法のみではなく認知症の患者とその家族を支えるための社会での仕組みも必要です。あまり知られていませんが、各市町村に設置されている地域包括支援センターはその仕組みの中心となるところです。

認知症の発生や進行を完全に予防することはできませんが、アルツハイマー型認知症にしる血管性認知症にしる高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などが進行に悪影響を及ぼすことはよく知られています。

つまり生活習慣病の予防は脳血管疾患だけでなく認知症予防にも重要ということです。



病院長  
山本 信孝

## 新入職員に質問!

4月に入職した新人さん達も4ヶ月の実務経験を経て少しずつ病院の雰囲気にも慣れてきた頃だと思えます。

日々の仕事で忙しい中、4つの質問に答えて頂きました。

- Q1 所属部署とお仕事内容について教えてください。
- Q2 入職前と入職後のイメージの違いなどありましたか?
- Q3 病院や部署内の雰囲気はどうですか?
- Q4 今後の目標はありますか?



**Q1** R3年4月よりリハビリテーション部に所属し、理学療法士として勤務しています。回復期病棟に配属先が決まり、医師や看護師、コメディカル等と協力し、情報を日々共有しながらチーム医療の一員として活動しています。主に急性期治療を終え全身状態が落ち着いた患者さんに対して、各々の退院先に向け自立支援しています。

**Q2** 歩行練習では、多種多様な装具の積極的活用、歩行時の電気刺激による運動アシスト、体重免荷装置を併用した歩行など様々な手段を用いて歩行練習をしています。患者さん個々の身体機能に合わせた練習が可能であり、自立支援に向けて充実した環境にあると感じ、歩行練習に対する考え方が変わりました。

**Q3** リハビリ部署内、理学療法部門内だけではなく、回復期病棟全体での勉強会などもあり、多職種間でも知識を高め合える環境にあり充実した日々を過ごせていると思います。先輩、後輩問わず和気あいあいとしており、悩み事など相談しやすい雰囲気があると思います。

**Q4** 脳卒中専門病院として専門性の高い知識、技術を学び患者さんの自立支援に少しでも貢献できればと思います。



理学療法士  
あらみず しんご  
荒水 進吾



作業療法士  
もと  
本 あかり

**Q1** リハビリテーション部で、トイレや食事など日常生活に関わる作業や、料理や洗濯などの家事動作、また手芸などの趣味活動を再開出来るように、毎日患者さんと練習を行っています。

**Q2** ドクターとは、あまり関わりが無いのかなと思っていたけどドクターもカンファレンスなどに参加され、1人の患者さんにたいしチームで関わっています。

**Q3** 同じリハビリテーション部の先輩方はもちろんですが病棟のスタッフや事務の方々、皆さんが優しく、困ったときは、何でも聞きやすい雰囲気です。リハビリテーション部は、いつもスタッフと患者さんの練習を頑張っている声や楽しく話す声など明るい雰囲気です。

**Q4** 患者さんのやってみたい!出来るようになりたい!という思いをたくさん引き出せるような作業療法士になりたいです。

- Q1** 一般病棟です。一般病棟では主に入院の受け入れや手術出し、患者さんの全身管理を行っています。
- Q2** 患者さんの生死に関わる仕事だと改めて感じます。その責任の重さとやりがいを実感しています。
- Q3** 忙しい中でも報告・連絡・相談を怠らず、常に互いを気遣う協力体制のとれたメリハリのある雰囲気だと感じます。
- Q4** 日々知識と技術を積み重ね、看護師としてスキルアップすることです。



看護師  
さとう すぐり  
**左藤 寿久理**



看護師  
たけべ りお  
**武部 莉音**

- Q1** 回復期リハビリテーション病棟で患者さんが日々のリハビリを頑張れるように入院生活をサポートしています。
- Q2** 入職前も後も職員の皆さんが明るく挨拶して下さる病院だなと思っています。
- Q3** 病院も病棟もあたたかい雰囲気があり、みなさん優しくて気さくに声をかけてくださいます。
- Q4** もっと成長して、患者さんから頼られる存在になることです。

- Q1** 回復期リハビリテーション病棟です。生活動作の維持・向上ができるように、患者さんが自身でできる部分は積極動作的に促し、行うことができない部分は介助を行っています。また、患者さんの全身状態を観察し、肺炎にならないよう吸痰や口腔ケア、体位ドレナージなど二次的合併症を防ぐ看護をしています。
- Q2** 学生時代に回復期リハビリテーション病棟で実習をさせていただき、実際に働いている看護師の方々を見たり、話を聞いたりしていたのでイメージの違いはなかったです。
- Q3** 明るく優しい職員の方ばかりで、協力して日々の業務を行うことができるので良い雰囲気の中で働くことができます。
- Q4** 患者さんの病態だけではなく、これまでの生活の背景を踏まえた関わりができ、患者さんの思いに寄り添い声かけや介助ができる看護師になりたいです。



看護師  
たかさき さえ  
**高崎 紗衣**



医療ソーシャルワーカー  
ふくだ さき  
**福田 季里**

- Q1** 地域医療福祉部医療福祉相談課です。患者さんや家族が抱える、経済的な問題、治療を受ける上での不安など、生活の困りごとを一緒に考え、社会復帰や在宅生活に向けた支援を行っています。
- Q2** 入職前は、患者さんや家族と面談をしているイメージが強かったです。実際は、患者さんや家族との面談のみではなく、電話での関係機関との連携や、カンファレンスでの外部機関や多職種との関わりで患者さんを支援しています。
- Q3** 院内の雰囲気は良く、様々な部署の人たちと連携がとりやすいです。相談課内の優しく、頼りになる先輩方に助けてもらいながら、日々業務に取り組んでいます。
- Q4** 患者さんに寄り添った支援が出来るようなソーシャルワーカーを目指しています。

## 新型コロナウイルス感染症に関する対応について(令和3年8月1日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行がひき続き拡大しています。当院では、入院中の患者さん・医療従事者等を感染から守るために、院内の感染対策の徹底を強化しています。ご理解・ご協力をお願いします。(病院長)

### 診療について

当院は、新型コロナウイルス感染症患者の診療を実施していません。

発熱、咳などの症状がある方は、まずは、かかりつけ医又は内科医等に電話で相談してください。かかりつけ医や相談医がない場合は以下に相談してください。

●石川県発熱患者等受診・コロナワクチン副反応相談センター(コールセンター)

☎0120-540-004(フリーダイヤル) 24時間対応(土日祝日含む)

### 入院される患者・ご家族の方へお願い

入院患者さんの面会を禁止しています。期間は未定です。以下の点に留意ください。

①面会は全病棟で原則禁止しています。

ただし、患者さんの状況(急変時、手術前後)などにより短時間で面会していただく場合もあります。

※状況によってはリモート面会が可能です。入院病棟で確認ください。

②入院中の患者さんの外泊・外出は原則禁止しています。

ただし、介護調査や退院前の介護指導等、治療と見なされる場合は考慮します。

③医師から説明がある場合の来院者は、ご家族2名以内とします。

④洗濯物等の受け渡しは、家族面会証をお持ちの方、1名のみとします。受け渡しは入院病棟のスタッフステーション前で行います。

平日 14:00~17:00にお越し下さい

※来院されるご家族さんは、発熱、感冒症状、倦怠感等がないことを確認してください。

症状がある場合、県外(特に流行地域)からの往来がある場合は来院をお控えください。

### 来院される際のお願い

マスクの着用をお願いします。

来院されるすべての方に、手指消毒と検温を実施してもらいます。発熱(37.5度以上)が確認された場合は、受診はご遠慮願います。



### 新型コロナウイルスワクチン接種について

当院では、一般の方のワクチン接種を実施していません。お住まいの市町村窓口確認ください。

入院中の患者さんのワクチン接種に関しても現在、受付できません。

上記の内容は8月1日現在の見解であり、対応に関して常時変更となる可能性があります。最新情報は当院のホームページにも掲載しています。



病院  
理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様へ、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。



日本医療機能評価機構 認定病院

医療法人社団 浅ノ川

金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2

TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914

http://www.nouge.net

金沢脳神経外科病院 広報誌 第79号 発行:広報委員会  
2021年8月20日発行